

日本：トランスペアレンシー・インターナショナルは表現の自由の侵害の試みに抗議する

2008年7月9日 ベルリン

トランスペアレンシー・インターナショナル(TI)は日本がスポンサーとなっている南洋調査捕鯨プログラムにおける腐敗に言及したレポートを発表した後に勾留された二人のグリーンピースの活動家について遺憾の意を表明し、彼らの逮捕の目的を明らかにするよう要求する。

拘留されているグリーンピースの活動家、佐藤潤一氏と鈴木徹氏のふたりは、日本の捕鯨船の搭載状況ならびに、船で行われた科学的調査によって生じた鯨肉の販売処理の調査および引証活動を行っていた。

TI は二人の即時解放を要求する。なぜなら彼らを長期勾留する必要性がないためである。TI はたとえ故意でないにせよ、NGOや非暴力的の市民社会活動家を脅迫し、黙らせる試みに抗議する。さらに TI は先に言及したレポート内で明らかとなった腐敗の存在の可能性の調査が、東京地検により不問に付されるのではないかと懸念を抱いている。この問題に責任を持つ捜査当局は再調査もしくは、再調査の破棄に関して理由を明確にするための必要な手続きを経なければならない。

<http://www.greenpeace.org/>(英語版) <http://www.greenpeace.or.jp/>(日本版)に、より詳細な情報および調査に関するレポートがある。

メディアコンタクト

Press Department

+49-30-34 38 20 666

press@transparency.org